

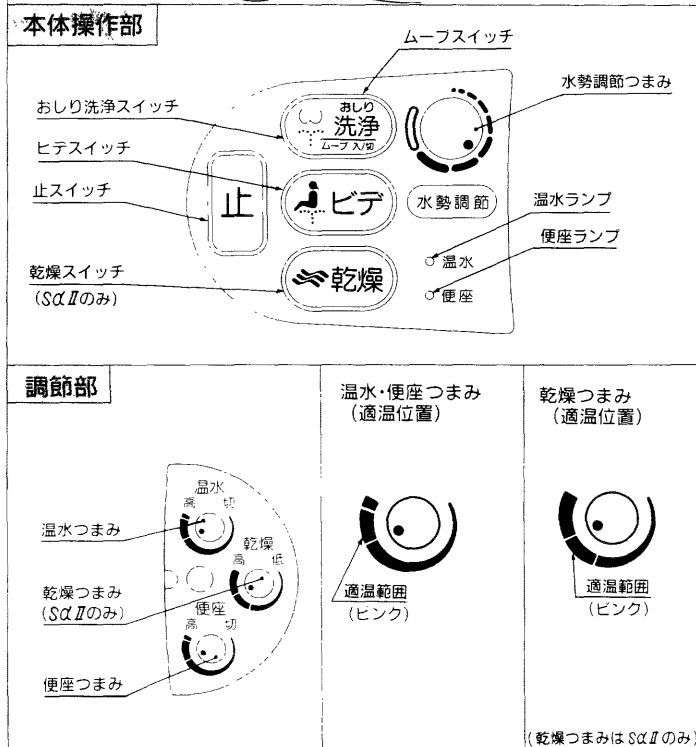
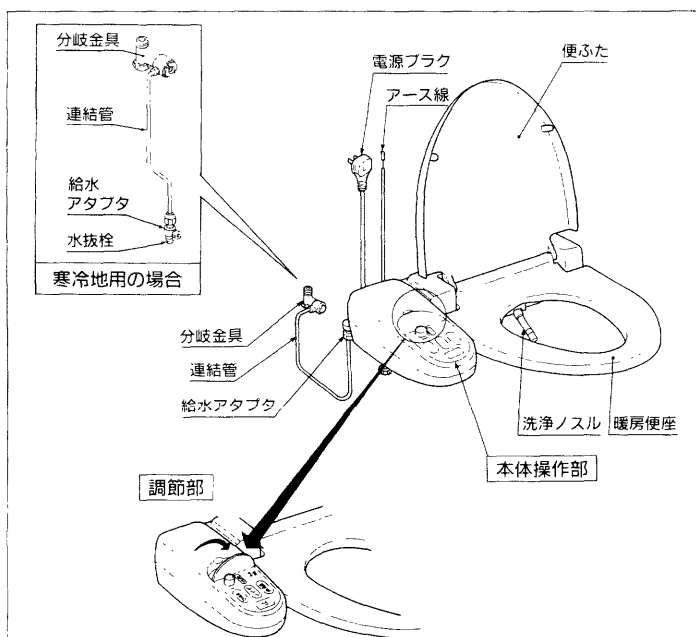
はじめに

このたびは、TOTOウォシュレットをお買上げいただき、まことにありがとうございます。

製品の機能が十分発揮されるように、この取付説明書の内容にそって正しく取付けてください。

- 電気工事が必要な場合は必ず電気工事店に依頼してください。
- 商品にはお客様用として、保証書・ご愛用のしおり・使用方法説明書をおまけに張付けています。
工事完了後、お客様に手渡してきない場合は、便ふたに張付けておいてください。
- 保証書には、お買上げ店名又は工事店名及びお取付け日を必ず記入してください。
- この説明書の中で寒冷地用と表現の機種には、次の製品が該当します。
TCF360Z・TCF361Z・TCF370Z・TCF371Z

各部の名称



部品の確認

まず、次の部品があることを確認してください。

1 ウォシュレット本体			
2 分岐金具	3 給水アダプタ	4 取付ボルト	5 保証書 使用方法説明書 ご愛用のしおり 同封
 D10025Z (寒冷地用) D10026Z			
6 連結管			

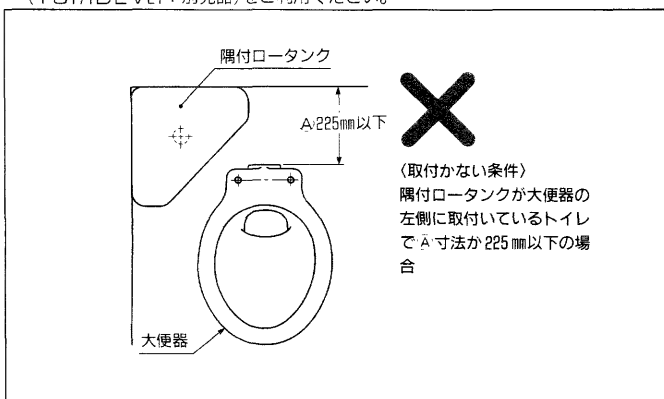
仕様

項目	内容	
定格	交流100V-1275W 50/60Hz	
1時間当りの標準消費電力量	26Wh(1日12回使用で年間平均)	
電源コード	有効長さ1.0m	
洗浄装置	吐水量	吐水量調節範囲 0.3~0.65L/min(水压0.2MPa(2.0kgf/cm ²))のとき
	吐水温度	温度調節範囲 約30~40°C
	ヒーター容量	1220W
乾燥装置 (SαIIのみ)	洗浄方式	ムーブ洗浄機能付(おしり洗浄時のみ)
	安全装置	温度過昇防止器(手動復帰式バイメタル)
	逆流防止	逆止弁及びバキュームブレーカ付
暖房便座	温度調節範囲	約40~55°C
	ヒーター容量	55W
給水圧力	安全装置	温度ヒューズ
	表面温度	温度調節範囲 約30~40°C
周囲使用温度範囲	給水圧力	最低必要水压0.05MPa(0.5kgf/cm ²)、最高水压0.74MPa(7.5kgf/cm ²)
	製品寸法	0~40°C
製品質量	洗濯し便器用	幅53cm、奥行49cm、高さ12cm
	その他の便器用	幅53cm、奥行52cm、高さ12cm
製品質量	5.5kg	

道直結給水式) 取付説明書

取付前の注意

- 電気製品ですので、水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所での使用は避けてください。特に、浴室内では使用しないでください。
- 電源は、交流100V(50/60Hz)、最高消費電力は1275Wです。必ずこれに適した配線をしてください。
- 電源コードの長さは1.0mです。コンセントは、本体のコード取出し位置から0.8m以内の壁面に設けてください。
- アースは、第3種接地工事(100Ω以下)を行ってください。
- 給水圧力範囲は、0.05MPa(0.5kgf/cm²)~0.74MPa(7.5kgf/cm²)です。この圧力範囲でご使用ください。
- 連結管(めっき付銅管)の長さは1.05mです。給水取出し位置は、給水アダプタから0.8m以内に設けてください。
- ウォシュレットには、中水や飲用に適さない地下水を使用しないでください。
- 下図の設置条件の場合、ウォシュレットの給水アダプタが隅付ロータンの洗浄管とあたりウォシュレットが取付かないケースがあります。この場合は特殊洗浄管(TS17IDL V21:別売品)をご利用ください。

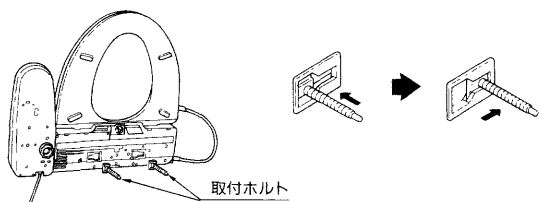


- フラッシュバルブセットの大便器にウォシュレットを取付ける場合は別途アダプタが必要となります。フラッシュバルブの給・排水心々が120mmの場合は専用アダプタ(TH1404普通型・TH484-1低圧型:別売品)をご利用ください。
- 器具への通電及び通水は、本体を便器へ取付けてから行ってください。

取付方法

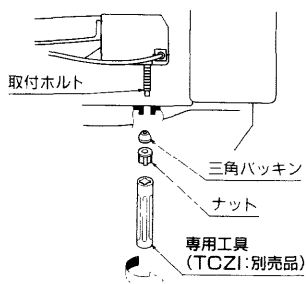
1. 便器への取付け

- 取付ボルトをセットしてください。



- 便器に取付けてください。

- 本体を便器に仮止めする。
- 便器との取合いを調整する。
- がたつきのないよう専用工具(TCZ1)で締付ける。

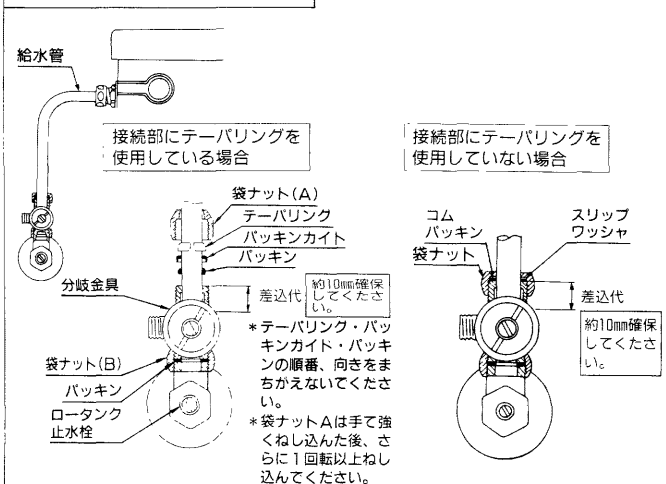


2. 分岐金具の接続

給水は、ロータンク止水栓部から取る方法とフラッシュバルブから取る方法があります。

取付けは次の手順で行ってください。

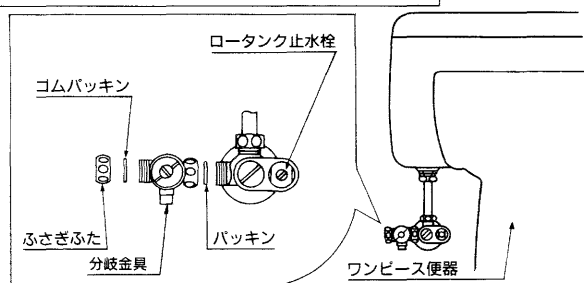
ロータンク止水栓部から取水する場合



- ロータンク止水栓を閉じて、給水管を取外します。
- 付属の分岐金具を図のようにロータンク止水栓部に取付けてから、約10mmの差込代がとれる寸法に給水管を切落しと接続します。

ワンピース便器へ取付ける際、ロータンク止水栓がウォシュレット用接続口の場合は、分岐金具を次の要領で接続してください。

ワンピース便器で止水栓がウォシュレット用接続口の場合

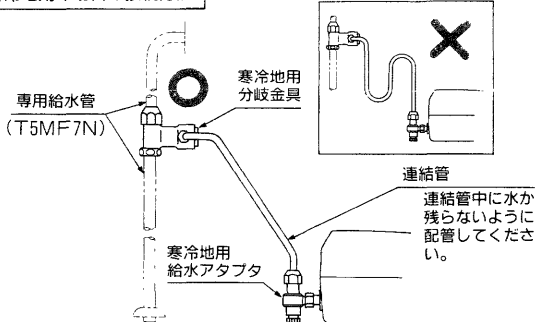


- ロータンク止水栓を閉じて、ふさぎふた及びゴムパッキンを外してください。
- 付属の分岐金具を図のようにロータンク止水栓部へ取付けてから、ふさぎふた及びゴムパッキンを分岐金具のねじ部にねじ込んでください。

フラッシュバルブから取水する場合

フラッシュバルブから取水する場合は、別売品のTH484又はTH484-1(フラッシュバルブの給・排水心々120mm用)が必要となります。取付けに当たってはこの説明書を合わせてご覧ください。

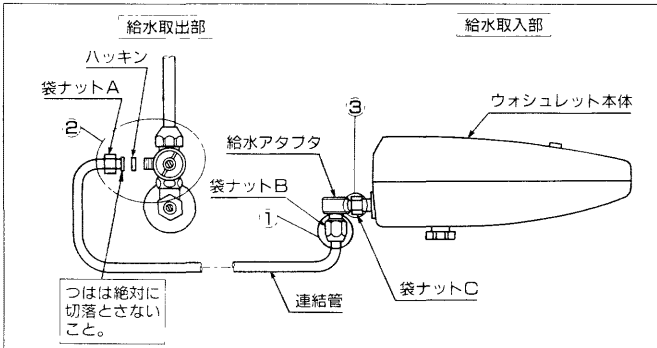
寒冷地用の場合の接続方法



- 連結管の水抜きができるように分岐金具位置は給水アダプタよりも必ず高い位置になるように取付けてください。
- ロータンクへの給水に止水栓なし給水管を使用される場合は、別売の専用給水管(T5MF7N)をご利用ください。

3. 連結管の接続

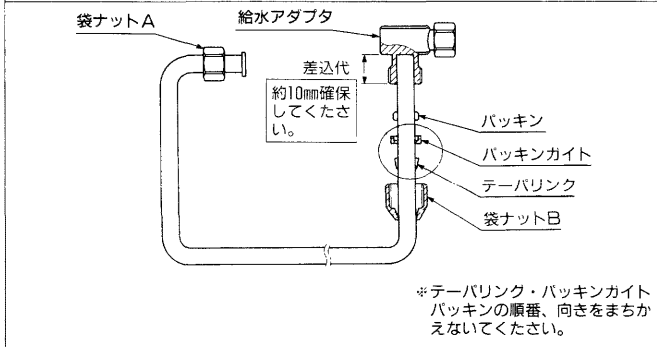
次の手順で分岐金具の給水取出し口とウォシュレット本体を付属の連結管で図のように接続してください。



- ※連結管の曲げは、あらかじめ針金などで確認し、それにそって曲げると容易に取付けられます。
- ※連結管を曲げるときは、連結管がつぶれないように注意してください。
- ※連結管の切断はハイパーカッターを使用してください。切断後は必ず水洗いを行ない切粉を取り除いてから接続してください。

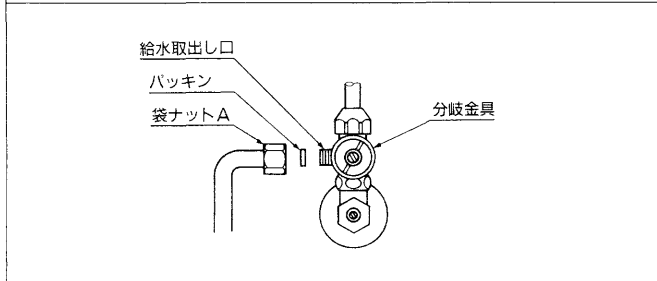
1 給水アダプタとの接続

- 1) 連結管に袋ナットA、B・テーパリング・パッキンガイド・パッキンをあらかじめ通しておいてください。
- 2) 連結管を給水アダプタに差込んでください。
- 3) 袋ナットBを手で強くねじ込んだ後、さらに1回転以上ねじ込んでください。



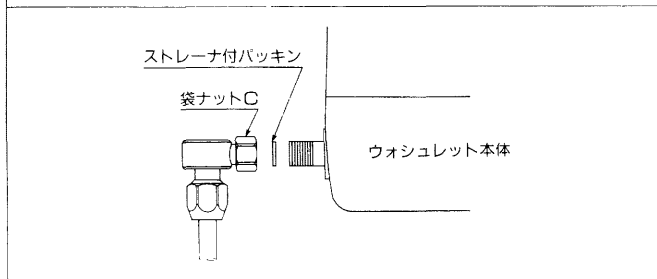
2 分岐金具との接続

分岐金具の給水取出し口と連結管を袋ナットAで確実に締付けてください。



3 本体との接続

ウォシュレット本体と給水アダプタを袋ナットCで確実に締付けてください。



袋ナットの締付けは、スパナ等で確実に締付けてください。

試運転

取付けが完了したら、次の方法で試運転を行ってください。

1. 水漏れの点検

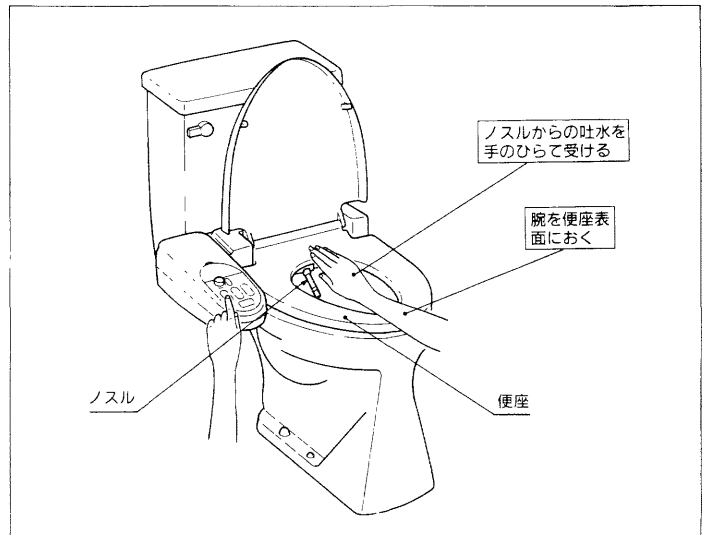
分岐金具止水栓及びロータンク止水栓を開き、各配管から水漏れがないことを確認してください。

2. 電源プラグの確認

- ① 電源プラグを交流100V (50/60Hz) のコンセントに根元まで確実に差込んでください。
- ※ ノズルが伸出し、再び収納位置に戻り、温水ランプと便座ランプが点灯します。

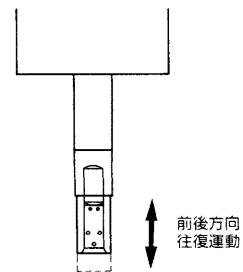
3. 機能の確認

1 洗浄機能の確認



- 腕を便座表面においてください。(種座スイッチが作動し、おしり洗浄及びヒテ洗浄の動作が可能になります。)
- おしり洗浄スイッチ¹⁾又はヒテスイッチ²⁾を押してノズルからの吐水を手のひらで受け、吐水状態が安定するまで吐水させてください。約10秒で安定状態になります。(水勢調節つまみを「強」側にすると、早く吐水が安定します。)
- ① おしり洗浄スイッチ¹⁾又はヒテスイッチ²⁾を押すと、約1秒ノズル洗浄し、その後ノズルが伸出してノズルの先端から吐水することを確認してください。
 「おしり洗浄」のとき……後の2穴から吐水します。
 「ヒテ洗浄」のとき……前の3穴から吐水します。
- ② 適温の温水が出ることを確認してください。(温水温度は安定するまで約15秒かかります。)
- ③ 「おしり洗浄」と「ヒテ洗浄」の切替えが確実に行えることを確認してください。
- ④ 本体からの水漏れがないことを確認してください。
- ⑤ 「おしり洗浄」時に再度おしり洗浄スイッチ¹⁾を押す、ノズルが前後方向に往復運動することを確認してください。
- ⑥ 再びおしり洗浄スイッチ¹⁾を押すと、ムーブ洗浄が停止し、その位置で吐水を続けることを確認してください。

■ 洗浄ノズルの動き



⑦以上の確認が終わりましたら止スイッチ³⁾を押して、ノズルを収納位置に戻してください。

②乾燥機能の確認

(SαIIのみ)

- 便座表面に手のひらをおいてください。
(着座スイッチが作動し、乾燥の動作が可能になります。)



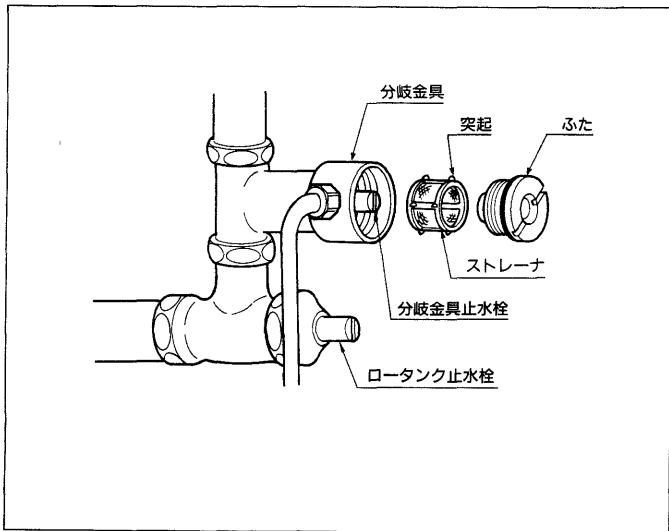
- ①乾燥スイッチ(☞)を押してください。温風が便座後部よりでてきます。調節部の乾燥つまみ(☺)を回して温風温度が変化することを確認してください。
- ②止スイッチ(☒)を押すと温風は停止します。

③暖房便座の確認

- 通電約10分後、便座が温まっていることを確認してください。

ストレーナの掃除

ストレーナに水あかやごみがたまると適正な性能が得られなくなりますので通水後、分岐金具止水栓を閉めたのち、ふたを外し、必ずストレーナを掃除してください。

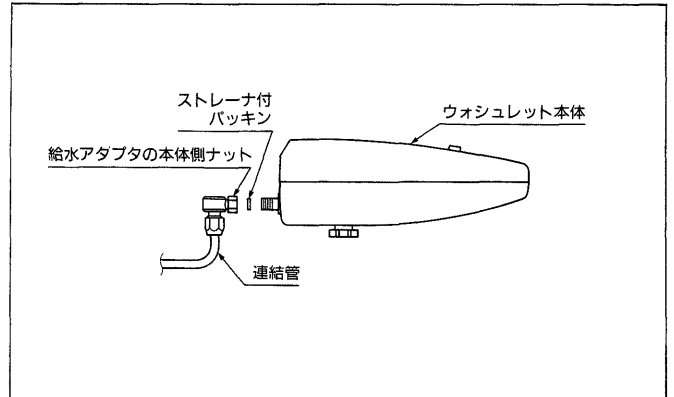


以上の確認が終了したら、お客様に引渡されるまで電源プラグを抜いておいてください。

ただし、お客様に引渡しされるまでに凍結のおそれがあるときは、漏水事故予防のため次の要領で水を抜いてください。

寒冷地用以外の場合の水抜方法

- ①ロータンク止水栓を閉めた後、分岐金具のふたははずしたままにしておいてください。又、給水アダプタの本体側ナットをウォシュレット本体からゆるめてははずしたままにしておいてください。



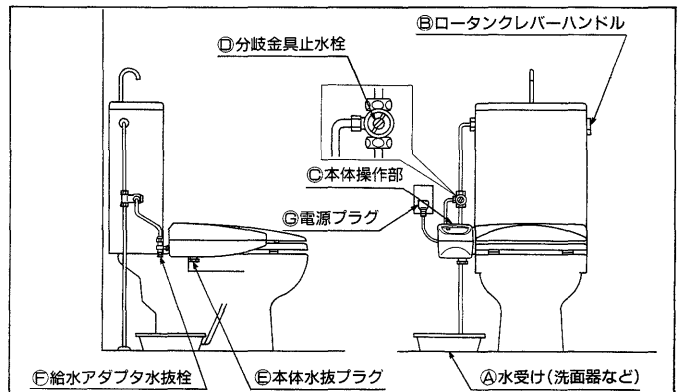
- ②次にウォシュレット本体の水抜きをしてください。水抜方法は次の寒冷地用の場合の水抜方法と同じです。

※お客様に引渡しされるときは、分岐金具のふた及び給水アダプタの本体側ナットを確実に締込み、ロータンク止水栓を開き漏水がないことを確認してください。

寒冷地用の場合の水抜方法

寒冷地用の場合は配管及び器具内の水が抜けるように、水抜プラグ及び水抜栓を設けています。

凍結の恐れがある時期に施工された場合は、水抜栓又はロータンク止水栓を閉めた後、次の要領で水抜きをしておいてください。



- ①本体水抜プラグ⑥及び給水アダプタ水抜栓⑦下部に洗面器などの水受け④をおいてください。
 - ②ロータンクレバーハンドル⑧を操作してロータンク内の水を排出してください。
※分岐金具止水栓⑩が「開」状態であることを確認してください。
 - ③おしり洗浄スイッチ(☞)(又はピデスイッチ(☞))⑨を押して、ノズルの水抜きを行なってください。
 - ④本体水抜プラグ⑥及び給水アダプタ水抜栓⑦を外れるまでゆるめて水を抜いてください。
本体から約100ccの水が出ます。
 - ⑤水を抜き終わったら、本体水抜プラグ⑥及び給水アダプタ水抜栓⑦を本体側に確実にあたるまで締付けてください。
 - ⑥止スイッチ(☒)⑪を押して洗浄ノズルが収納していることを確認した後、電源プラグ③を抜いてください。
- ※ロータンク及び便器の凍結予防のため水を流動させる場合は、分岐金具止水栓⑩を閉めた後、水抜栓又はロータンク止水栓を開いてロータンク側にだけ給水してください。

(工事店様へ) 取付後は製品の使い方についてお客様に説明してください。